

令和5年度の重点課題

- ・女子の項目が全て県平均値・全国平均値を下回った。
- ・男女共通の課題は、握力・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳びであった。
- ・特に20mシャトルラン（男女）  
上体起こし（女子）・長座体前屈（女子）は大きく下回っている。
- ・男子では運動やスポーツをすることが「やや嫌い」が9%であった。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- ・保健体育科の授業において、男女共習へと全学年移行した。学ぶ姿勢や学級経営とのつながり、他者理解を高めることによって、学びに対する取組意欲の向上に取り組んだ。また、保健体育科のみで体力テストを実施していたが、実施学年教員への協力を仰ぎ、学年の取組として意識を向上させたことで成果へとつながった。
- ・授業の始めにランニングを入れることで、体力面の向上とその後のストレッチの効果を高めた。
- ・昨年度体力テストの結果から、課題を教職員全体へ共有し、改善のため部活動でも積極的に高めてもらうよう促した。
- ・日ごろから家庭で実施できるトレーニングを教員から生徒へ情報提供を行い、体力向上に向けた啓発活動をしている。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値（令和5年度）・全国平均値（令和4年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	29.46	28.70	41.57	54.86	76.83		7.86	197.20	21.65	44.82	第2学年	23.12	23.41	44.36	47.38	48.58		8.67	168.82	12.31	49.34

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値（令和6年度）・全国平均値（令和5年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	29.46	28.70	41.57	54.86	76.83		7.86	197.20	21.65	44.82	第2学年	23.12	23.41	44.36	47.38	48.58		8.67	168.82	12.31	49.34

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	66.00	22.00	12.00	0.00	第2学年	46.15	41.03	10.26	2.56

学校独自の意識調査

学校独自の意識調査	
-----------	--

重点課題

情意面での課題

男子：運動やスポーツをすることが好きと答える生徒の割合が88.0%である。  
女子：運動やスポーツをすることが好きと答える生徒の割合87.2%である。

体力面での課題

男子：「長座体前屈」、「20mシャトルラン」、「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値より低い。  
女子：「握力」、「長座体前屈」「20mシャトルラン」、「立ち幅跳び」、「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い。  
全体：1日の活動時間が30分未満の生徒が12.4%である。

令和7年度の重点目標値

- ・運動やスポーツを「やや嫌い」「嫌い」と答える男子、女子の割合を5%以下。
- ・男子は、全国平均を上回る項目を6項目以上とし、体力合計得点の平均点が45点以上。
- ・女子は、全国平均を上回る項目を4項目以上とし、体力合計の得点の平均点が50点以上。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 授業の始めに、ランニングや体力向上ドリルの実施
- ・長座体前屈→ペアストレッチ
- ・20mシャトルラン→グラウンド等のランニング
- ・瞬発力を養うトレーニングの実施

体育の授業以外で行う取組内容

- 家庭でもできるとトレーニングの情報提供を行い、体力の向上及び運動に親しむことへの抵抗感をなくす。
- 体力テストの情報を教職員で共有し、運動部活動でも体力の向上につながるトレーニングを行っていく。